

事業名称
道路橋梁総務事業

目的	県道の事業推進	対象	市民		
事業概要	○道路橋梁総務事業				
	・県が実施主体で実施した県道改良工事に係る経費(負担金)				
	区 分	負担率	事業費	工事費	負担金(工事費×負担率)
	・地域振興事業	3/20	45,000千円	42,975千円	6,446千円
	・一般改良事業	3/20	268,000千円	255,940千円	38,391千円
	計		313,000千円	298,915千円	44,837千円
	(起債)県道改良負担金 41,900千円				
	・各道路期成会負担金 476千円				
	・道路台帳作成整備委託料 2,594千円				

221

2. 指標設定

成果指標	指標名		市内県道改良率の向上	目標年度	—	指標の設定理由							
	数値		10.7%			総合計画/後期基本計画において、基本施策(3-1-1)の重点施策としているため							
活動指標	指標	a	県道改良負担金		b	市道道路台張整備		c			d		
	数値	目標	—		目標	—		目標			目標		

3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
市内県道改良率の向上	%	75.5 %	76.0 %	76.4 %
		11.2 %	14.8 %	17.6 %

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 県道改良負担金	千円	58,589 千円	59,488 千円	44,837 千円
b 市道道路台帳整備	千円	5,654 千円	4,971 千円	2,594 千円
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
市内の県道改良率は、H25年度で76.4%で県下で2番目に低い。県平均の86.2%を目標にする。
対応（改善点等）
予算の範囲内で今後協議を重ねながら優先順位を決めて対応する。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

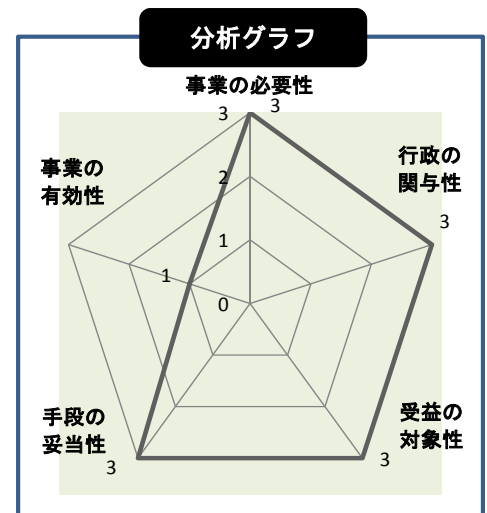
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		66,040	66,121	49,250	79,634
うち経常経費		7,450	6,672	4,413	12,634
財源内訳	国費				
	県費				
	市債	52,300	54,500	41,900	63,200
	その他	10,076	1,033	70	91
	一般財源	3,664	10,588	7,280	16,343
	うち経常	240	6,599	4,342	12,543
事業費に係る人件費		8,600	8,588	10,897	13,528
事業費に係る人役		2.00	2.00	2.50	3.05

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
市内の県道改良事業負担金を確保し、改良率の向上を図る。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 県道は市民の生活道として広域ネットワークを担っている。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 大分県の施行に伴う負担金の支出。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広範な市民の生活道として利便性が確保できている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 改良率向上のため市の負担金を確保し県に施工を要望する。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	1 改良率向上達成に長期間を要する。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	選択と集中により、限られた予算の中で課題の対応に努めること。